まなびの輪

～豊かな学びで、自分らしく～

令和８年１１月１７日
担当課【義務教育企画課】

教育課程柔軟化サキドリ研究校

～市川市立曽谷小学校、市川市立東国分中学校の取り組みについて～

教育課程柔軟化サキドリ研究校（以下、サキドリ研究校）とは、次期学習指導要領の改訂に向け、柔軟な教育課程の編成・実施に取り組む学校のことです。

令和８年度からの２年間、サキドリ研究校として、本市では曽谷小学校と東国分中学校が文部科学大臣より指定を受けました。

今回は、２校の取り組みについて紹介します。

曽谷小学校

①英語専科教員とALTの授業の様子（6年生）





ALT（外国語指導助手）を令和８年４月から１名配置しています。

この日の授業では、「週末の予定」をテーマに授業を行っていました。起きる時刻や寝る時刻などの過ごし方について、英語で積極的に伝え合っていました。

②1年生での授業の様子

曽谷小学校では、1、2 年生でも英語の授業を行っています。
この日は1年生の「かずをかぞえよう」の学習です。音楽に合わせて歌ったり、踊ったりしながら英語で 1～20 までの数字の数え方について練習しました。
数字の数え方に慣れたら、ALT の先生が言った数字の人数で、グループを作る活動を行うなど、英語に慣れ親しむことができました。



東国分中学校

①1年生での授業の様子



東国分中学校では、ALT を2名配置しています。
各クラスの ALT の参加授業を週に1.5 回程度に拡充することで、生徒が英語を使う機会が増えています。
ALT の授業では、ゲーム活動やインタビュー活動など、英語を使って自分の言葉で伝え合っていました。

②日常生活のなかで英語に触れる機会の増加

ALTが英語のクイズを作成し、校内に掲示しています。生徒が日常的に英語に触れる機会が増えることで、主体的に英語の学習に取り組む環境を整備しています。

